

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和7年6月2日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)

滋賀県大津市本堅田5丁目13-17

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)

株式会社アヤノ

代表取締役 山田 武彦

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項

第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例

第26条第1項

第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、
事業者行動計画を策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社アヤノ 代表取締役 山田 武彦
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県大津市本堅田5丁目13-17

1 事業者の概要

事業所の名称	days hair アネックス					
事業所の所在地	滋賀県大津市本堅田5丁目13-17					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	7	8	3	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 美容業
事業の概要	美容院の経営					
従業員の数	22	人	作業時間	10.5	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	台	熱源設備	台	照明設備	151 台
	コンプレッサ	台	空気調和設備	10 台	その他	給湯器:2台

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和5	年度	報告対象年度	令和6	年度
	終了 年度	令和6	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

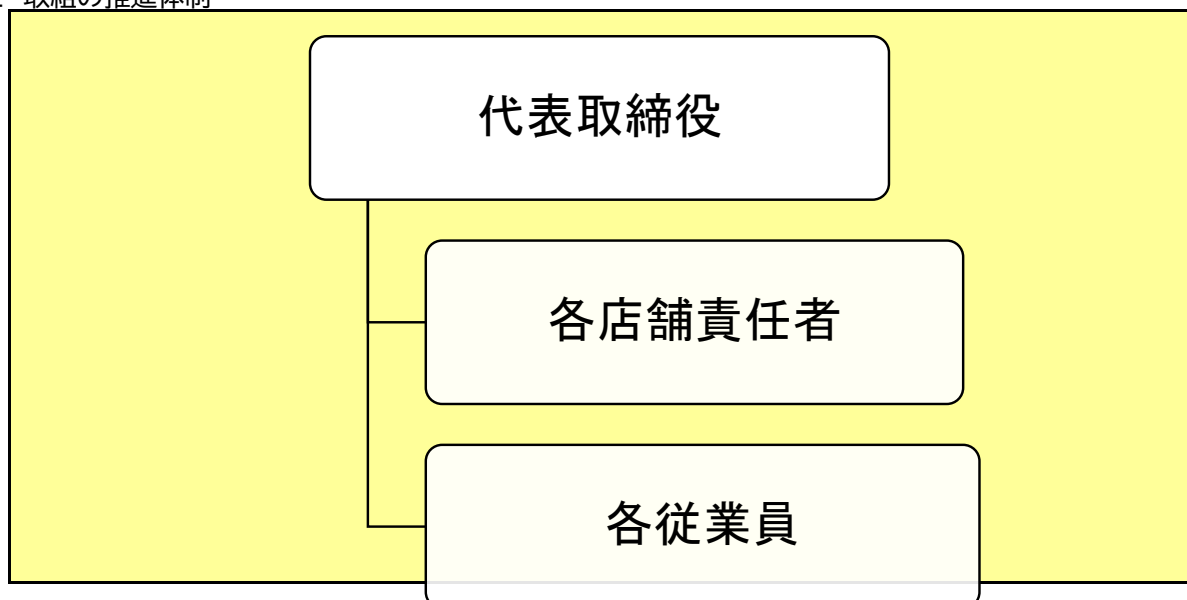
注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

株式会社アヤノは、温室効果ガス排出量の削減・CO₂ネットゼロ社会づくりを下記のテーマで進めていきます。

- 1.省エネルギー対策の推進と環境負荷の低減に取り組みます。
- 2.各事業所において省エネの工夫をしていきます。
- 3.事業所のエネルギー使用量を低減し、二酸化炭素の排出量を削減します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

・店舗内の稼働時間の多い照明をLED化

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	空調温度の設定緩和	令和5年度～	令和5年度から実施中
2	運用改善	空調機のフィルター清掃	令和5年度～	令和5年度から実施中
3	設備導入	最新の高効率空調への更新	令和5年度	令和5年度に実施
4				
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>基準年度(令和4年度)と比較して、計画終了時(令和6年度)に以下目標数値の達成を目指す。尚、令和5年度の報告は途中経過報告とする。</p> <p>①電力使用量:基準年度から7,500kwh削減 ②CO2排出量:基準年度から3.1t-CO2削減</p> <p>※実績を目標と適切に対比させるため、電力の温室効果ガス排出量の算定は、令和3年度実績:大阪瓦基礎排出係数0.412kg-CO2/kwhに固定して計算をする。</p>	<p>【基準年(令和4年度)】 ・電力使用量:26,625kwh ・CO2排出量:17.10t-CO2</p> <p>【令和6年度】 ①電力使用量:24,003kwh →削減量:2,622t-CO2 ②CO2排出量:15t-CO2 →削減量:2.1t-CO2</p> <p>①②共に目標達成とはならなかった。近年の酷暑により想定よりも空調稼働時間が増えた事が要因と考えられる。引き続き従業員一同、省エネを意識した行動を取っていく。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		5年度	6年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	10	9	9			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	17	13	16			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	17	13	16			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。